

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【公開番号】特開 2006-180337(P2006-180337A)

【公開日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)

【年通号数】公開・登録公報 2006-026

【出願番号】特願 2004-373177(P2004-373177)

【国際特許分類】

H 0 1 P 5/02 (2006.01)

H 0 1 P 1/04 (2006.01)

H 0 1 P 3/16 (2006.01)

【F I】

H 0 1 P 5/02 6 0 7

H 0 1 P 5/02 6 0 3 A

H 0 1 P 5/02 6 0 3 L

H 0 1 P 1/04

H 0 1 P 3/16

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 14 日 (2007.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 および第 2 の伝送線路の間に接続部を介して第 3 の伝送線路が接続されており、前記第 3 の伝送線路は、線路長を、前記第 1 の伝送線路から前記第 3 の伝送線路の入力端へ入力される高周波信号のうち、前記第 3 の伝送線路の前記入力端側の前記接続部で反射して前記第 1 の伝送線路に漏洩する一部の高周波信号を W_a 、前記第 3 の伝送線路の出力端側の前記接続部で反射して前記 W_a と同じく前記第 1 の伝送線路に漏洩する他の一部の高周波信号を W_b とし、これら W_a と W_b との中心周波数における位相差を ϕ としたときに、 $\phi = \pm \pi$ となるように設定したことを特徴とする高周波用伝送線路。

【請求項 2】

前記接続部の少なくとも 1 つは、前記高周波信号の波長の 4 分の 1 よりも長さが短いワイヤボンドであることを特徴とする請求項 1 記載の高周波用伝送線路。

【請求項 3】

高周波信号を発生する高周波発振器と、該高周波発振器に第 1 の高周波伝送線路で接続された、前記高周波信号を分岐して一方の出力端に送信用高周波信号として出力し、他方の出力端にローカル信号として出力する分岐器と、磁性体の周囲に第 1 の端子、第 2 の端子および第 3 の端子を有し、この順に一つの端子から入力された高周波信号を隣接する次の端子より出力する、前記分岐器の前記一方の出力端に前記第 1 の端子が第 2 の高周波伝送線路で接続されたサーキュレータと、該サーキュレータの前記第 2 の端子に第 3 の高周波伝送線路で接続された送受信アンテナと、前記分岐器の前記他方の出力端と前記サーキュレータの前記第 3 の端子との間に第 4 の高周波伝送線路で接続された、前記他方の出力端に出力された前記ローカル信号と前記送受信アンテナで受信した高周波信号とを混合して中間周波信号を出力するミキサとを具備しており、前記第 1 乃至第 4 の高周波伝送線路の少なくとも 1 つは請求項 1 または請求項 2 に記載の高周波用伝送線路であることを特徴

とする高周波送受信器。

【請求項 4】

高周波信号を発生する高周波発振器と、該高周波発振器に第 1 の高周波伝送線路で接続された、前記高周波信号を分岐して一方の出力端に送信用高周波信号として出力し、他方の出力端にローカル信号として出力する分岐器と、該分岐器の前記一方の出力端に入力端が第 2 の高周波伝送線路で接続された、出力端側に前記送信用高周波信号を出力するアイソレータと、該アイソレータの前記出力端に第 3 の高周波伝送線路で接続された、前記送信用高周波信号を送信する送信アンテナと、前記分岐器の前記他方の出力端側に第 4 の高周波伝送線路で接続された受信アンテナと、該受信アンテナと前記分岐器の前記他方の出力端との間に第 5 の高周波伝送線路で接続された、前記他方の出力端に出力されたローカル信号と前記受信アンテナで受信した高周波信号とを混合して中間周波信号を出力するミキサーとを具備しており、前記第 1 乃至第 5 の高周波伝送線路の少なくとも 1 つは請求項 1 または請求項 2 に記載の高周波用伝送線路であることを特徴とする高周波送受信器。

【請求項 5】

請求項 3 または請求項 4 に記載の高周波送受信器と、該高周波送受信器から出力される前記中間周波信号を処理して探知対象物までの距離情報を検出する距離情報検出器とを具備することを特徴とするレーダ装置。